

2025 年 9 月 1 日

通貨ニュース

タイ：憲法裁、国境問題に関する対応を巡り、ペートンタン首相の解職を決定

タイ憲法裁判所は 8 月 29 日、カンボジアとの国境紛争に関する対応を巡り、ペートンタン首相の解職を決定。首相として求められる倫理基準に違反したとして、憲法裁判所の判事 9 人のうち 6 人が解任に賛成した。ペートンタン首相は 2008 年以降、憲法裁判所によって解任された 5 人目の首相となった。

国際為替部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

ペートンタン首相の国境紛争を巡る対応に関しては 7 月 2 日付通貨ニュース『タイ：憲法裁、国境問題に関する対応を巡り、ペートンタン首相の職務を一時停止 (https://www.mizuho-bank.co.jp/forex/pdf/news/ccy250702_thb.pdf)』も含めてご確認頂きたいが、憲法裁判所は最終的にペートンタン氏がタイの国益よりもカンボジア側の利益を優先したと判断。カンボジアとの衝突が激化した結果、国民によるペートンタン氏への支持も弱まっていた。ペートンタン氏は今回の判決を受けて国民に謝罪した上で、リークされた発言内容については、カンボジアとの緊張を和らげるための交渉のためだったと説明した。

今回の決定を受けて、必然的に再度タイの政治情勢が不安定になることが懸念される。判決は最終決定であるため、ペートンタン氏の首相返り咲きは事実上断たれた。内閣は総辞職のかたちとなり、今後首相指名選挙が実施される流れとなる。議会投票は 9 月 3～5 日に行われる見込みだ。既報の通り、6 月には当時与党第 2 党であったタイ誇り党が与党から離脱しており、ペートンタン氏が所属するタイ貢献党を含む連立与党は辛うじて議会の過半数を保っている状況だ。このため、貢献党が連立与党の票を集約出来るかも不透明と言える。

タイ誇り党は一連の報道を受けて、アヌティン党首が次期政権の主導権を握る構えを見せている。タイ誇り党は親軍派政権に加わっていた過去があり、思想や政策面はやや保守的である。また、憲法裁判所裁判官の選任権を有する上院では定員の 6 割超の議席を獲得し、国民国家の力党やタイ団結国家建設党に代わって改革派勢力を抑え込む役割もあった。今回のペートンタン氏の失脚を受けてタイ誇り党の動向も注目度が高まっている。

もともと、どの政党から首相が選出されても政情不安が一気に解消するというシナリオにはならず、23 年の下院総選挙以来、貢献党や国民党(旧前進党)の後塵を拝してきた親軍派政党が台頭した場合においては世論の反応が気になるところではある。いずれにせよ政局の混迷はタイ経済や金融市場にも後ろ向きな話題であり、下半期にかけて景気減速が見込まれる状況下、事態の早期収拾が待たれる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。